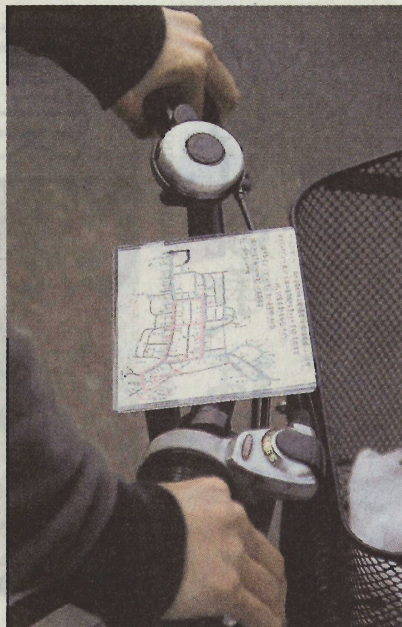


「マップ」が搭載されている「浜チャリ屋」の貸し出し用自転車



中心市街地活性化法に基づく上益城郡山都町のまちづくり機関（TMO）「まちづくりやべ」は22日、豊かな歴史を持つ浜町の町並みを観光客にゆっくり味わってもらおうと、レンタサイクル「浜チャリ屋」を始めた。テスト期間として1カ月間、1日300円で試行。利用者にアンケートを取り、来春の本格スタートに備える。

のんびり走ろう 浜町の町並み

山都町のTMOレンタサイクル試行

「豊かな歴史楽しんで」

浜町は、十三世紀に中世の豪族阿蘇氏が居館を構えてから約四百年間、中心地として栄えた。十八世紀からは、熊本と宮崎県を結ぶ日向街道の宿場町となり、各地から商人が集まり発展した。国指定重要文化財・通潤橋く「子ども」との意味で「浜子」と名付けた貸し出し用自転車は十二台。B4サイズの紹介マップを用意し、小型のマップをナビとして自転車のハンドル中央部に取り付け

た。通潤橋近くの道の駅と、国民宿舎に六台ずつ置き、それぞれの施設で申し込みを受け付ける。利用時間は、午前九時から午後五時まで。

自転車は町内からの寄贈。運営費はマップの裏側の広告掲載で賄っており、「補助金に頼らず、自立できる運営方法もテスト期間で探りたい」という。

アンケートは、同町が計画する「街並み整備事業」の資料としても生かす。レンタサイクル担当の下田真由美さん（左）は「浜町はゆっくり散策が似合う場所。自転車なら小一時間で一周できます。ぜひ利用を」と呼び掛けている。



（上田良志）